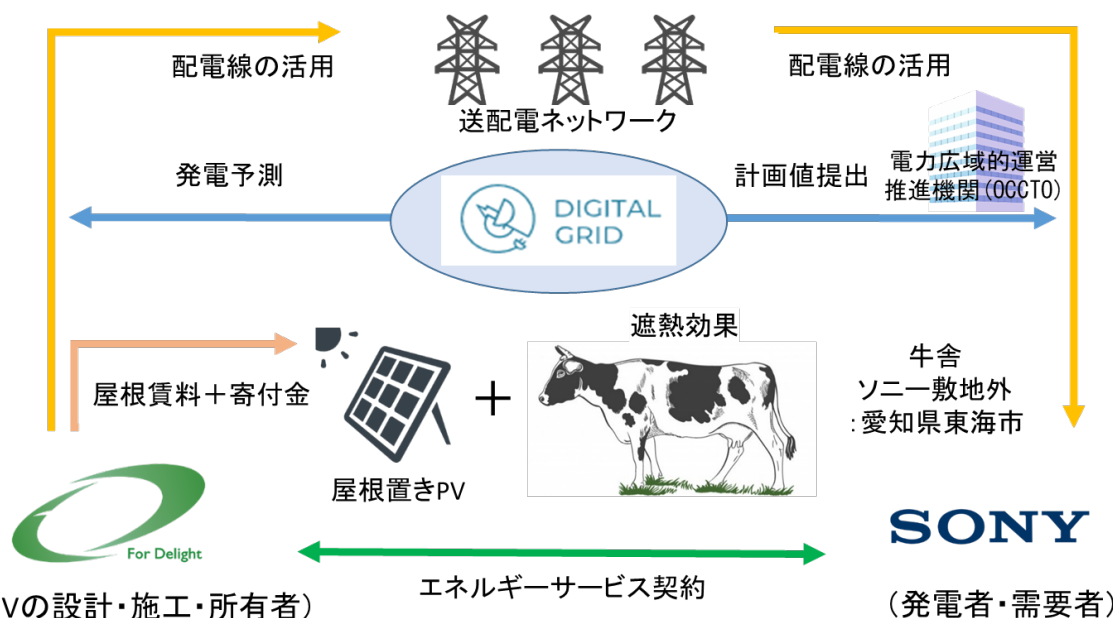


NEWS RELEASE

牛舎を利用した太陽光発電のオフサイト自己託送 2021年4月より運用開始 株式会社FD鈴木政司社長がオンラインで発表

株式会社FD（本社：愛知県刈谷市 代表取締役社長：鈴木政司、以下、FD）は、再生可能エネルギーの導入拡大に向け、ソニー株式会社（以下、ソニー）及びデジタルグリッド株式会社（以下、DG）と共同で、ソニー敷地外での太陽光発電を活用した自己託送（以下、取り組み）を2021年4月より運用開始することになりました。

【本取り組みのスキーム】



(PVの設計・施工・所有者)

エネルギーサービス契約

(発電者・需要者)

本サービスは、ソニーの敷地外(オフサイト)である牛舎(愛知県東海市)の屋根上にFDが約400kWの太陽光発電設備(PV)を設置し、ソニーが発電した電力を電力会社の送配電ネットワークを介して、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト(愛知県額田郡)へ供給し、発電した電力を自家消費します。

本取り組みでは、ソニー敷地外の牛舎(愛知県東海市)の屋根に設置した約400kWの太陽光発電設備で発電したソニーグループの電力を、電力会社の送配電ネットワークを介し、約30km離れたソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社の幸田サイト(愛知県額田郡)へ供給(自己託送)することにより、この発電した電力の自家消費を実現します。

■発表時のオフィシャル撮影素材について

発表のスチール・ムービー素材と資料、アーカイブ映像をご希望の場合は下記事務局までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社FD記者発表事務局 (株)日本経済広告社内 PRプロモーションルーム 吉田)

TEL:03-5282-8042 Mobile:080-6843-5151 E-mail:tetsuya.yoshida@adex.co.jp

本取組みにおける各社の役割とそれぞれのメリット

 <p>株式会社FD</p>	<p>【役割】 オフサイト自己託送の発案 太陽光発電設備の設計・施工・所有者</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供先の場所に関わらず、太陽光発電設備を設置した場所から提供可能。 ・ 再エネ需要企業などサービス提供先を選択することができる。 ・ サービス契約の解約があったとしても、設備を撤去することなく、他の再エネ需要企業に提供することができる（解約時リスクの軽減）。 ・ 今回は牛舎を選択したことで一次産業への貢献も果たせた。
 <p>ソニー株式会社</p>	<p>【役割】 オフサイト自己託送の企画・運用 発電者・需要者</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自社の敷地には限界があるが、本スキームでは敷地外を活用することができるため、再エネの調達手段が広がった。 ・ 今回はFD所有の太陽光発電設備を利用したので、ソニーは大幅な投資が必要なく再エネを現在の電力より安価に且つ直接調達できたことで経済効果が発生した。
 <p>デジタルグリッド株式会社</p>	<p>【役割】 国内初の民間電力取引所として運用を開始したP2P電力取引プラットフォーム「デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）」を活用した発電・託送の同時同量の実現</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルグリッドプラットフォームの参加社の増による電力取引の多様性の拡大
 <p>牛舎（酪農家）</p>	<p>【役割】 オフサイト自己託送の施設所有者</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 牛舎などの資産の有効活用が可能となる。 ・ ソーラーパネルを設置する屋根の賃貸収入が入ることでの新たな副収入の確保ができると同時に、費用負担なしで遮熱効果を得ることができ、牛舎内が3℃程度涼しくなることで牛舎の生産環境が改善。